

コンクリート片はく落防止工法用プライマー

# ボンドVMプライマー

「ボンド VMプライマー」は、常温で硬化する1液湿気硬化型の硬質エポキシ樹脂です。低粘度のため、コンクリートへの含浸性に優れ、可使時間の制約を受けないので作業性が向上します。また、「ボンド VMプライマー促進剤」を添加することで、 $-5^{\circ}\text{C}$ まで使用可能となりました。

■用途 ●コンクリート構造物はく落防止工法用プライマー

■特長 ●1液型のため、計量・混合作業が不要です。  
●低粘度のため、ローラー塗布性に優れ、下地に対する含浸性に優れます。  
●空気中の水分で硬化するため、可使時間の制約を受けません。  
●「ボンド VMプライマー促進剤」を添加することで $-5^{\circ}\text{C}$ までの使用も可能です。

■性状

| 項目  | ボンド VMプライマー                         | ボンド VMプライマー促進剤                 |
|-----|-------------------------------------|--------------------------------|
| 主成分 | エポキシ樹脂                              | 硬化促進剤                          |
| 外観  | 淡黄色透明液体                             | 無色～淡黄色透明液体                     |
| 粘度  | $150\pm 100\text{mPa}\cdot\text{s}$ | $10\text{mPa}\cdot\text{s}$ 以下 |
| 添加量 | —                                   | 20%                            |

※性状は改良のため予告なく変更する場合があります。  
※数値は規格値ではありません。

■使用方法 ●施工面は、ホコリや油などを取り除き、乾燥させてください。  
●空気中の湿気で硬化します。開封後はすみやかに使い切るようにしてください。  
●低温時は硬化が著しく遅くなりますので、 $5^{\circ}\text{C}$ 未満～ $-5^{\circ}\text{C}$ の場合は「ボンド VMプライマー促進剤」を20%添加して使用してください。  
●高温多湿時は硬化が速くなりますので、気温 $40^{\circ}\text{C}$ 以上もしくは湿度85%以上の場合は施工を中止してください。  
●器具類に付着した樹脂は、硬化する前に有機溶剤で拭き取ってください。  
●養生にあたっては、過度の振動、衝撃、水分等を与えないように注意してください。

## ■技術データ

## 1. 硬化物物性

| 試験項目                             | 測定値例 | 社内規格値 | 試験方法      |
|----------------------------------|------|-------|-----------|
| 硬化物比重                            | 1.15 | —     | —         |
| コンクリートへの接着強さ(N/mm <sup>2</sup> ) | 3.2  | —     | 仕上学会式引張試験 |
| 引張強さ(N/mm <sup>2</sup> )         | 24.2 | 20以上  | 社内試験方法    |

※養生条件：23℃ 7日

## 2. ひび割れ含浸性能(測定値例)

| 曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> ) | 材料の含浸深さ(mm) | 試験方法         |
|--------------------------|-------------|--------------|
| 4.24                     | 20~50       | NEXCO試験方法426 |

※塗布量：0.1kg/m<sup>2</sup>

※23℃×7日養生後、23℃で測定

## ■梱包容量

- ボンド VMプライマー：4kg
- ボンド VMプライマー促進剤：800g

## ■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

## ■注意事項

本品は皮膚に付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。より詳細な情報はSDSをお読みください。

- 火気のある場所では使用しない。●作業場所は十分に換気する。●取り扱い中は皮膚にふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれないように出し入れする。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理をする。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れを落とす。●皮膚に付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●目に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。●温度が2~40℃の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●大量に混合すると、発熱して煙が発生したり、可使用時間が短くなることがある。可使用時間以内に使いきれぬ量を混合する。●温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願いたします。

(記載の性状等は2015年3月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願いたします。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

**コニシ株式会社**

<http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961  
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624 仙台営業所 TEL022(211)5031 横浜営業所 TEL045(663)3184 高松営業所 TEL087(835)2020  
福岡支店 TEL092(551)1764 栃木営業所 TEL0285(43)1511 金沢営業所 TEL076(223)1565 沖縄営業所 TEL098(884)7521  
札幌支店 TEL011(731)0351 高崎営業所 TEL027(324)3002 広島営業所 TEL082(507)1911